

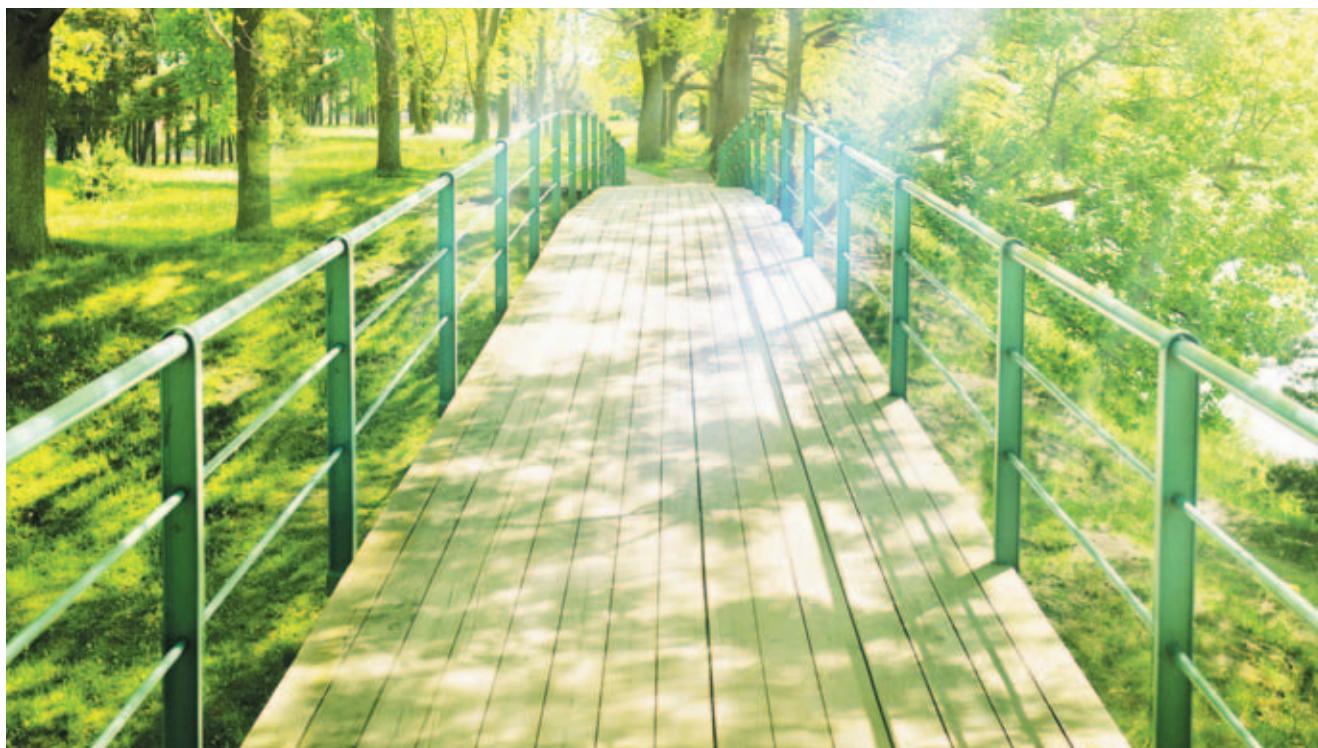
FDA日米バランスファンド

FDA日米バランスファンド(安定型) 愛称:みどりの架け橋・安定型

FDA日米バランスファンド(成長型) 愛称:みどりの架け橋・成長型

FDA日米バランスファンド(積極型) 愛称:みどりの架け橋・積極型

追加型投信／内外／資産複合



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

●本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

●ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は右記の委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には信託約款の主な内容が含まれておりますが、信託約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に掲載されております。

●ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、右記の照会先までお問い合わせください。

委託会社 ファンドの運用の指図を行う者

SOMPOアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第351号

設立年月日: 1986年2月25日

資本金: 1,550百万円

運用する投資信託財産の合計純資産総額: 2,554,699百万円
(2025年10月末現在)

■照会先

ホームページ: <https://www.sompo-am.co.jp/>

電話番号: 0120-69-5432

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

受託会社 ファンドの財産の保管及び管理を行う者

野村信託銀行株式会社

商品分類		
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
追加型	内外	資産複合

属性区分			
投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	為替ヘッジ
その他資産 (投資信託証券 (資産複合(株式、債券)))	年1回	日本・北米	なし

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

※商品分類及び属性区分の定義につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページをご参照ください。
(<https://www.toushin.or.jp/>)

追加的記載事項

下記を総称して「F D A日米バランスファンド」または、総称してあるいは個別に「ファンド」ということがあります。

F D A日米バランスファンド(安定型)〔略称:安定型〕
F D A日米バランスファンド(成長型)〔略称:成長型〕
F D A日米バランスファンド(積極型)〔略称:積極型〕

- この投資信託説明書(交付目論見書)により行う「F D A日米バランスファンド(安定型)」「F D A日米バランスファンド(成長型)」「F D A日米バランスファンド(積極型)」の受益権の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2026年1月6日に関東財務局長に提出し、2026年1月7日にその効力が発生しております。
- 各ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
- 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
- 投資信託説明書(請求目論見書)については、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に投資信託説明書(請求目論見書)をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。

ご投資家のみなさまへ

FDA日米バランスファンドは、長期的な視点から日米の株式・国債に分散投資を行う、みなさまの資産形成を応援するファンドです。基本投資配分比率^(*)が異なる複数のタイプがあり、投資助言会社である株式会社FDAlco（株式会社エフディアルコ）からの投資助言を受けて、運用を行います。

(*)基本投資配分比率は、株式会社FDAlco（株式会社エフディアルコ）の投資助言に基づき決定します。

SOMPOアセットマネジメント

ファンドの愛称「みどりの架け橋」の「みどり」は、お客さまの資産をしっかりと守りながら成長させることで築き上げていく豊かな未来の象徴として命名されています。ファンドはESGを投資対象選定の主要な要素としている「ESG投信」ではないことにご留意ください。

ファンドの目的・特色

① ファンドの目的

(安定型)

安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。

(成長型)

信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。

(積極型)

信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。

② ファンドの特色

1

主として、日本株式、日本国債、米国株式、米国国債(以下「各資産」といいます。)を投資対象とする、日本、米国の金融商品取引所等の上場投資信託証券(以下「ETF」といいます。)に分散投資を行います。

2

投資目的やお客さまのリスク許容度に合わせて、想定される値動きの大きさが異なる「安定型」「成長型」「積極型」の3つのファンドからお選びいただけます。

3

各資産を投資対象とするETFへの基本投資配分比率は、投資助言会社である株式会社FDAlco(株式会社エフディアルコ)^{※1}(以下「投資助言会社」といいます。)からの、「安定型」「成長型」「積極型」それぞれのファンドの目的に合わせた投資助言に基づき、決定します。

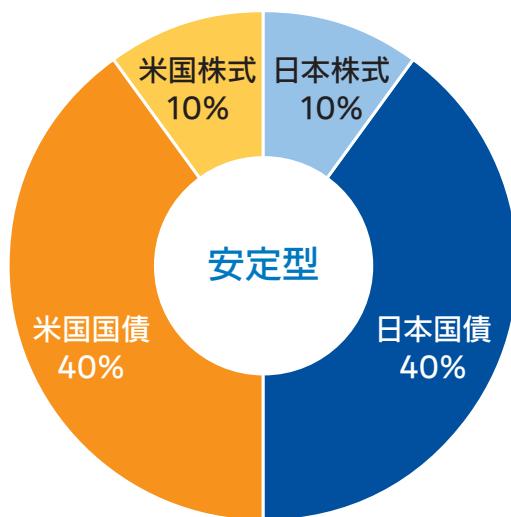
※1 株式会社CCIグループ子会社の投資助言会社

ファンドの目的・特色

＜基本投資配分比率(2025年10月現在)^{※2}＞

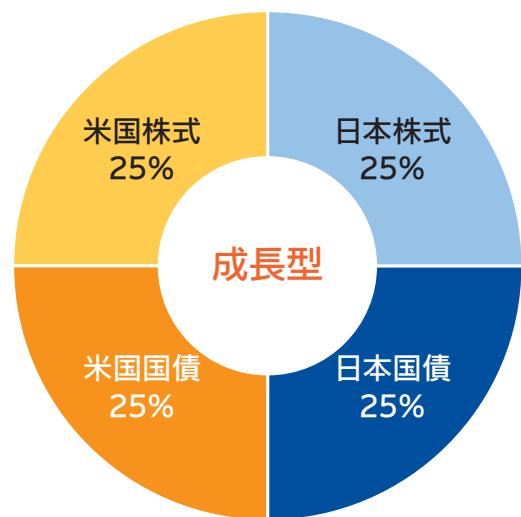
【安定型】

日米国債の組入比率を相対的に高めた、
資産の安定性を重視したポートフォリオ



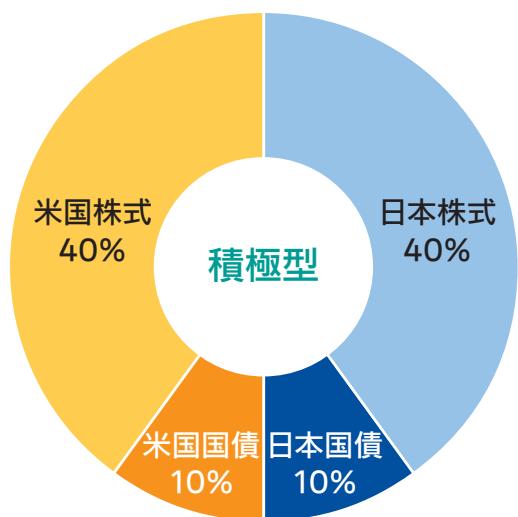
【成長型】

日米株式の組入比率を相対的に高めた、
資産の成長性を重視したポートフォリオ



【積極型】

日米株式の組入比率をより相対的に高めた、資産の成長性をより重視したポートフォリオ



※2 基本投資配分比率は、投資助言会社からの投資助言に基づき決定されるため、変更になる可能性があります。

ファンドの目的・特色

4

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

主な投資制限

- 株式への投資割合には制限を設けません。
- 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

分配方針

毎決算時(原則として10月7日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

投 資 リ ス ク

● 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属いたします。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

●ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

<input checked="" type="checkbox"/> 資産配分リスク	ファンドの資産配分比率が収益の源泉となる場合もありますが、配分比率が高い資産の価格が下落した場合等には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
<input checked="" type="checkbox"/> 価格変動リスク	株式や公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。 また、一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。実質的に組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
<input checked="" type="checkbox"/> 為替変動リスク	外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。 為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
<input checked="" type="checkbox"/> 流動性リスク	国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあります。 また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。
<input checked="" type="checkbox"/> 信用リスク	株式や公社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。実質的に組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式や公社債の価値がなくなることもあります。ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

投 資 リ ス ク

● その他の留意点

- クーリングオフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

● リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に対する取組方針に基づき、運用担当部から独立した部署及び社内委員会において運用に関する各種リスク管理を行います。また、委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策等を策定しています。流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢については、担当役員が監督し、管理状況およびその有効性等については、定期的に社内委員会に報告されます。

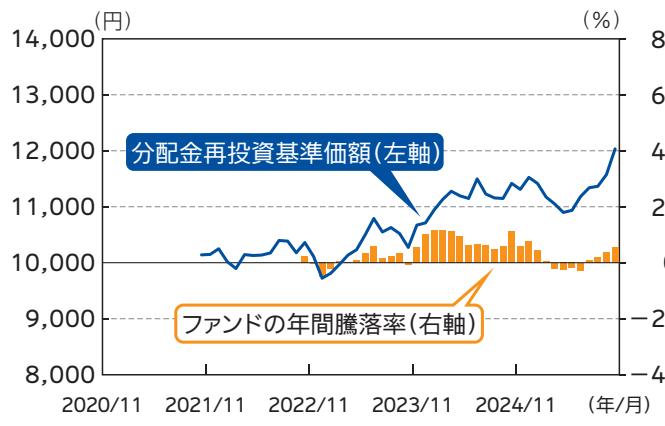
投 資 リ ス ク

参考情報

ファンドの年間騰落率及び分配金再投資基準価額の推移

※データは、設定日より掲載しています。

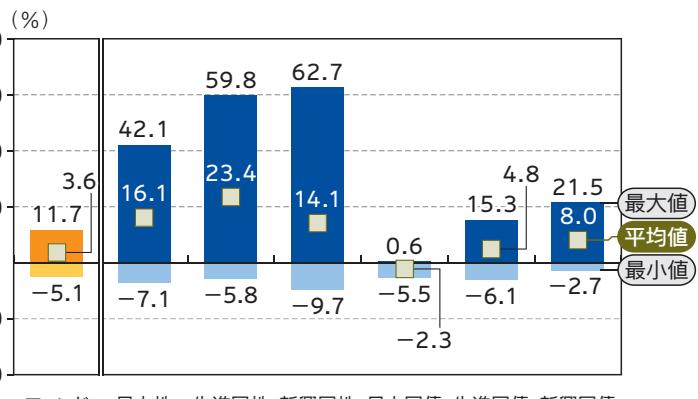
安定型



2020年11月～2025年10月

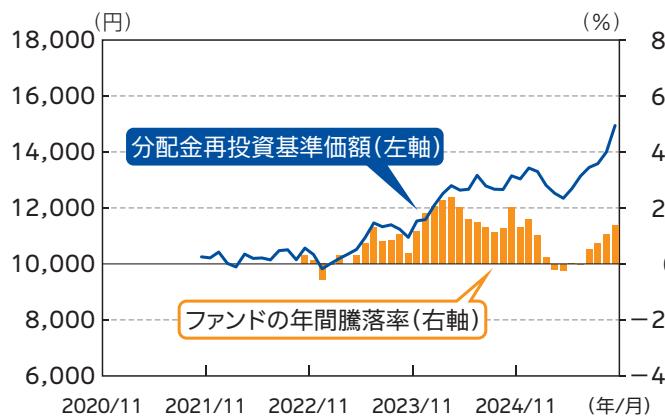
ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

※ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご留意ください。

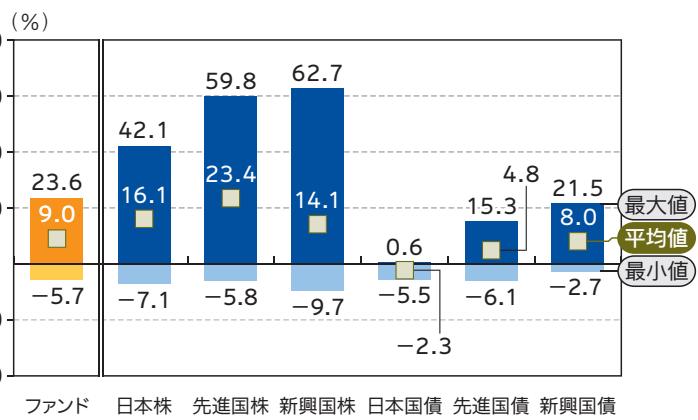


ファンド :2022年10月～2025年10月
代表的な資産クラス:2020年11月～2025年10月

成長型

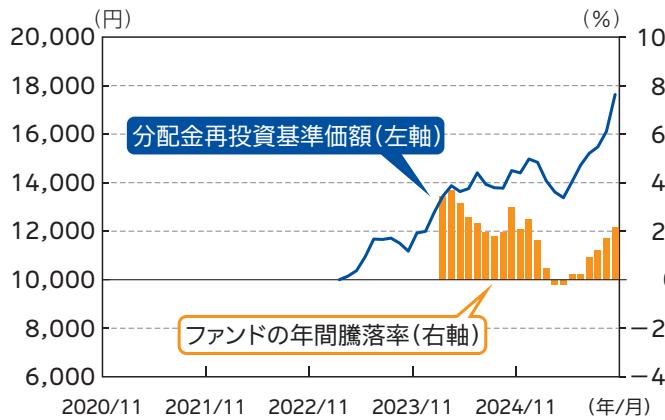


2020年11月～2025年10月

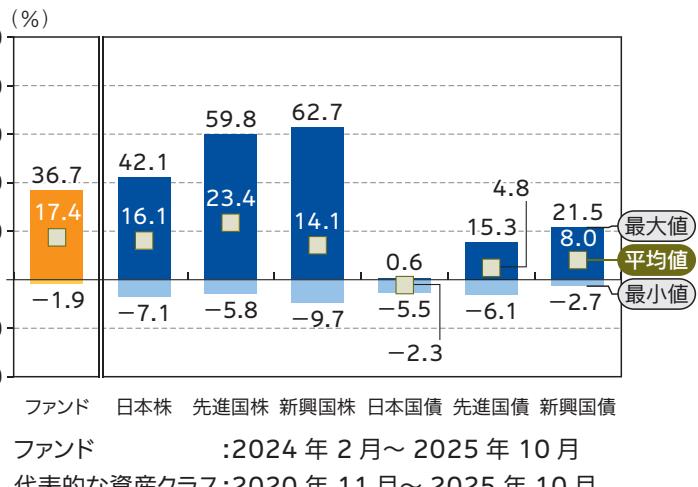


ファンド :2022年10月～2025年10月
代表的な資産クラス:2020年11月～2025年10月

積極型



2020年11月～2025年10月



ファンド :2024年2月～2025年10月
代表的な資産クラス:2020年11月～2025年10月

投 資 リ ス ク

●上記は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額および年間騰落率が記載されており、実際の基準価額および基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

●上記は、期間5年の各月末におけるグラフになります。

●「ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較」は、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

代表的な資産クラスの指標

日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指標で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指標です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指標です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	J PモルガンG B I-E M グローバル・ディバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指標です。なお、J PモルガンG B I-E Mグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注)海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

運用実績

基準日:2025年10月31日

基準価額・純資産の推移

● 安定型 2021/10/08～2025/10/31



分配の推移

● 安定型

2022年10月	0円
2023年10月	0円
2024年10月	0円
2025年10月	0円
—	—
設定来累計	0円

● 成長型 2021/10/08～2025/10/31



成長型

2022年10月	0円
2023年10月	0円
2024年10月	0円
2025年10月	0円
—	—
設定来累計	0円

● 積極型 2023/02/27～2025/10/31



積極型

2023年10月	0円
2024年10月	0円
2025年10月	0円
—	—
—	—
設定来累計	0円

- 基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。
- 基準価額の計算において信託報酬は控除しています。

- 1万口当たり、税引前

- 上記の運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 - 最新の運用状況は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。
 - 表中の各数値を四捨五入して表示している場合、合計が100%とならないことがあります。

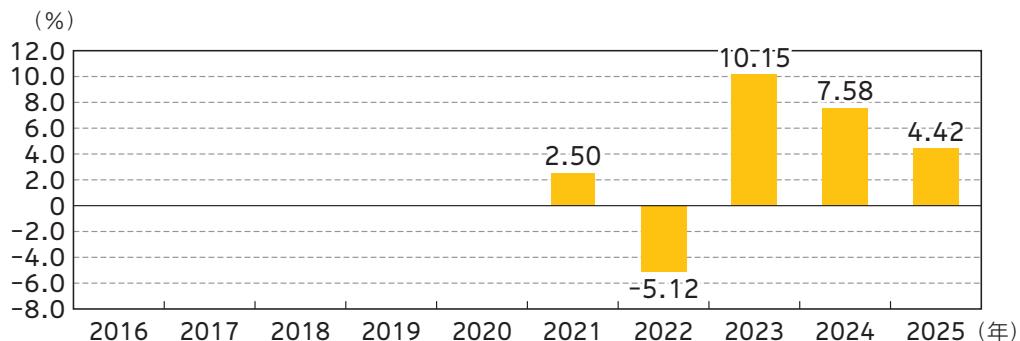
運用実績

● 主要な資産の状況

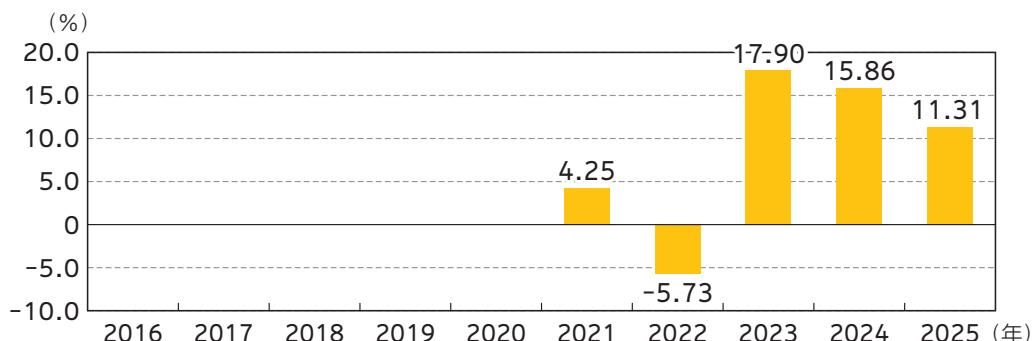
資産別構成	安定型	成長型	積極型
資産の種類	純資産比	純資産比	純資産比
ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B	39.38%	24.36%	9.61%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	39.38%	23.62%	9.44%
VANGUARD S&P 500 ETF	9.84%	24.64%	38.50%
iシェアーズ 日経225ETF	10.21%	26.00%	40.64%
コール・ローン等	1.19%	1.38%	1.81%
合 計	100.00%	100.00%	100.00%

● 年間收益率の推移 (暦年ベース)

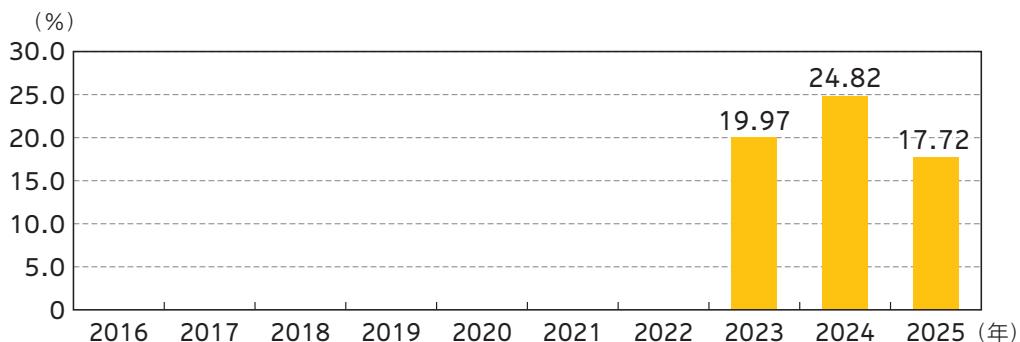
● 安定型



● 成長型



● 積極型



- ファンドの年間收益率は基準価額(税引前分配金再投資)を使用して計算しています。
- 安定型および成長型の2021年は設定日(10月8日)から年末、積極型の2023年は設定日(2月27日)から年末、2025年は各ファンドともに年初から基準日までの收益率です。
- 当ファンドはベンチマークを設定していません。

- 上記の運用実績は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
- 最新の運用状況は別途、委託会社ホームページでご確認いただけます。
- 表中の各数値を四捨五入して表示している場合、合計が100%とならないことがあります。

手 続・手 数 料 等

お申込みメモ

購 入 時	
購 入 単 位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購 入 價 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購 入 代 金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換 金 時	
換 金 単 位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換 金 價 額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。 有価証券の売却や売却代金の入金が遅延したとき等は、換金代金の支払いを延期する場合があります。
申込について	
申込不可日	NYSEアーリー取引所、NASDAQのいずれかの休業日
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 ※受付時間は販売会社により異なる場合があります。詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入の申込期間	2026年1月7日から2026年7月6日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金 申込受付の 中止及び 取消し	以下の事態*が発生したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。 ※購入・換金の申込金額が多額であると判断した場合、主要投資対象とする上場投資信託証券の申込みの停止ならびに基準価額算出の中止、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、取引市場における流動性が極端に低下した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情があると判断したとき

手 続・手 数 料 等

決 算・分 配

決 算 日	原則、10月7日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	毎決算時(年1回)、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。 販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。 各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。

そ の 他

信 託 期 間	無期限 (設定日 安定型および成長型 2021年10月8日／積極型 2023年2月27日)
繰 上 償 還	次のいずれかの場合には、繰上償還させることができます。 ・各ファンドの受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合 ・繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
信託金の限度額	各ファンド1兆円
公 告	委託会社のホームページ(https://www.sompo-am.co.jp/)に掲載します。
運 用 報 告 書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課 稅 関 係	●課税上は株式投資信託として取扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ●配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

手 続・手 数 料 等

○ ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 2.2%(税抜2.0%)を上限 として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価になります。 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

各ファンドの日々の純資産総額に対して**年率0.3850%(税抜0.35%)**を乗じた額です。運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。

支払先	配分(税抜)	対価として提供する役務の内容
委託会社	年率0.24%	ファンドの運用の対価
販売会社	年率0.08%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.03%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※委託会社の報酬には、投資助言会社である株式会社FDAlco(株式会社エフディアルコ)への報酬が含まれます。

※上記のほか、投資対象であるETFの信託報酬等がかかります。ETFの信託報酬等は、投資対象となるETFにより料率が異なりますので、具体的な料率を事前に表示することができません。

なお、2025年10月末現在のETFの信託報酬は以下のとおりです。

安定型:年率0.0915%(税抜)程度

成長型:年率0.0713%(税抜)程度

積極型:年率0.0510%(税抜)程度

本料率は、ファンドに組入れている各ETFの信託報酬を基本投資配分比率で計算した参考値です。実際の投資配分比率により料率は変動します。

以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。

- ・監査法人に支払うファンド監査にかかる費用
- ・有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
- ・外国における有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
- ・信託財産に関する租税 等

※上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

●当該手数料等の合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

手 続・手 数 料 等

税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」をご利用の場合

一定額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて購入の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

※法人の場合は上記とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は2025年10月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

(参考情報) ファンドの総経費率

- 直近の運用報告書の作成対象期間におけるファンドの総経費率は以下のとおりです。

ファンド名	総経費率(①+②)	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
安定型	0.39%	0.38%	0.01%
成長型	0.39%	0.38%	0.01%
積極型	0.39%	0.38%	0.01%

※対象期間は2024年10月8日から2025年10月7日です。

※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値(年率)です。

※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。